

令和3年6月1日

報道機関各位

新型コロナワクチン集団接種会場における 廃棄物処分時の針刺し事故（報告）

ワクチン集団接種会場において、注射針が混入した医療用廃棄物のゴミ袋を、誤って一般廃棄物のゴミ袋と一緒にしてしまい、一般廃棄物の回収に来た業者の職員が、ゴミ袋の運搬中、右足に針が刺さる事故が発生したものです。

被害を受けた職員に対して、お詫び申し上げますとともに、再発防止を徹底します。

1 概要

会場：浅生スポーツセンター（戸畑区浅生2丁目1-1）

日時：令和3年5月19日（水）14時頃

被害者：一般廃棄物回収業者の職員（女性）

2 経緯

(1) 5月12日から16日まで（4日分）の一般廃棄物回収のために業者の職員が来場。一般廃棄物の集積場から会場外にゴミ袋を持ち出す際に、右足（ふくらはぎ）に痛みを感じ、ゴミ袋（透明）の中身を確認すると注射針が入っていたことが分かった。

(2) 急遽、会場でワクチン接種業務に出務中の医師が診察。その後、医療機関に救急搬送し、血液検査を実施した（抗体の有無を確認、その他の結果は特になし）。

3 原因

(1) 本来、注射針は専用のボックス型ごみ箱に捨てなければならなかったが、看護師が他の医療廃棄物（使用済みの医療用ガウン・手袋など）のゴミ箱に捨ててしまった。

(2) 医療廃棄物は、専門の回収業者が来るまで、施錠できる場所に保管することになっているが、会場スタッフが一般廃棄物と同じ場所に置いてしまった。

(3) 上記について、市・運営事業者でルールを定めていたものの、会場スタッフ一人一人に徹底できておらず、また、ゴミ箱の表示・配置等にも工夫ができていなかった。

4 再発防止

- ・全会場のスタッフに、ゴミの仕分けなどの廃棄ルールを徹底したほか、ゴミ箱ごとに廃棄できるものを写真等で示すなど、分かりやすいゴミ箱の設置を行った。今後も定期的に確認を行う。

※被害者に対しては、今後も検査・健康観察等を継続します。

【お問い合わせ】

保健福祉局感染症医療政策課
担当：上野（課長）、金元（係長）
電話 093-582-2919